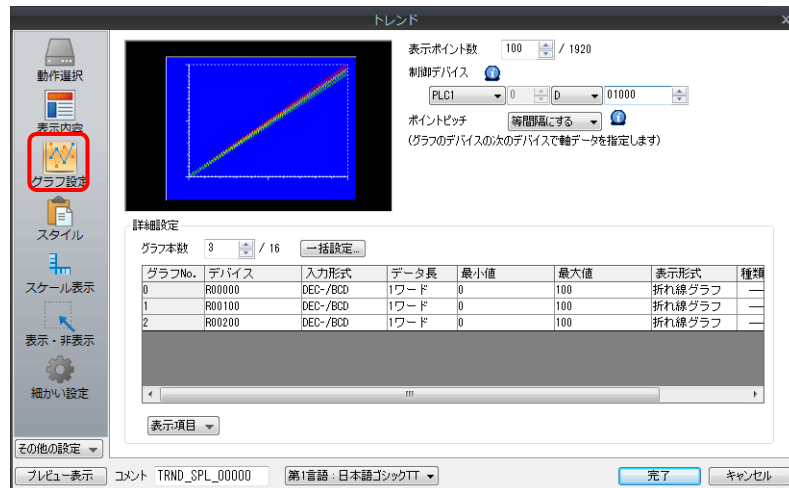


## グラフ設定

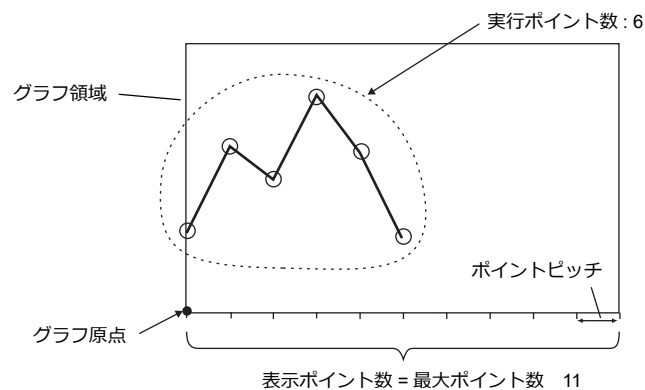


項目	内容																																
表示ポイント数 *1	横軸のポイント数を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 640 × 480 ドットの場合 : 3 ~ 640</li> <li>- 800 × 600 ドットの場合 : 3 ~ 800</li> </ul>																																
制御デバイス	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>15</td><td>14</td><td>13</td><td>12</td><td>11</td><td>10</td><td>09</td><td>08</td><td>07</td><td>06</td><td>05</td><td>04</td><td>03</td><td>02</td><td>01</td><td>00</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> <p> <span style="margin-left: 100px;">└─ 0 → 1 (エッジ) : 再描画</span> <span style="margin-left: 150px;">└─ 実行ポイント数</span> </p> <p> <span style="margin-left: 100px;">└─ 0 → 1 (エッジ) : 再描画クリア</span> </p> <p>実行ポイント数 *1 (0 ~ 1024)</p> <p>表示するポイント数を設定します。 No. [0 (~ 15)] に設定した [デバイス] の内容を、指定した実行ポイント数分、読み込みます。</p> <p>再描画 *2</p> <p>実行ポイント数分、再描画します。 エッジ (0 → 1) 領域をクリアしないため、前に描画したグラフ上に描画します。</p> <p>再描画クリア *2</p> <p>実行ポイント数分、再描画します。 エッジ (0 → 1) 領域をクリアした後、グラフを描画します。最新のグラフのみ表示します。</p>	15	14	13	12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01	00			0	0	0											
15	14	13	12	11	10	09	08	07	06	05	04	03	02	01	00																		
		0	0	0																													
ポイントピッチ	<p>等間隔にする 全てのポイントを等間隔にします。</p> <p>スケールで指定 ポイントの間隔をスケール範囲で指定します。</p> <p>ドットで指定 ポイントの間隔をドットで指定します。</p> <p>詳しくは、「7.3.3 ポイントピッチについて」P 7-37 を参照。</p>																																

項目	内容
詳細設定	
グラフの本数	グラフの本数を設定します。 最大 16 本
デバイス	このデバイスの内容を読み込み、グラフ表示します。[表示ポイント数]、[データ長] の設定により使用デバイス数が異なります。 詳しくは「7.3.3 ポイントピッチについて」P 7-37 を参照。
使用範囲	ポイントピッチ：ドット数で指定 の場合
入力形式	デバイス値のデータ形式を設定します。 DEC-/BCD <sup>*3</sup> /実数 <sup>*4</sup> 最大値 / 最小値 / X 軸スケールの値も同じ入力形式で扱います。
データ長	1ポイント分のデータ長を設定します。 1ワード / 2ワード
最小値 <sup>*5</sup>	グラフの表示範囲を設定します。(PLC デバイス <sup>*6</sup> / 内部デバイス <sup>*6</sup> / 定数)
最大値 <sup>*5</sup>	
スケール最小値 <sup>*5</sup>	[グラフ設定] → 「ポイントピッチ：スケールで指定」の場合に設定します。 詳しくは、「7.3.3 ポイントピッチについて」P 7-37 を参照。
スケール最大値 <sup>*5</sup>	
表示形式	グラフの種類（線またはマーカー）とカラーを設定します。
種類	
カラー	
表示項目	[詳細設定] の表示項目を切り替えます。

## \*1 表示ポイント数について

方向：→



表示ポイント数をグラフ領域の X サイズ（ドット）より大きい値を設定すると、グラフは正常に描画されません。

## \*2 再描画と再描画クリアについて

再描画する場合、「再描画」または「再描画クリア」ビットを使用してください。

再描画した後、次の再描画までの時間が短い場合、「再描画」ビットまたは「再描画クリア」ビットのエッジがたっても、再描画されない場合があります。

一旦表示されたグラフは、値が変化しても再描画の命令を行わない限り、最新の内容を表示しません。

\*3 DEC-/BCD 選択時の形式は、[通信] → [ハードウェア設定] → [PLC プロパティ] 内にある [コード：DEC/BCD] の設定に依存します。

\*4 モニタッチの使用可能範囲を超える値（非数含む）をセットした場合、表示できません。

☞ 使用可能範囲について、「5.1.4 実数（浮動小数点）について」参照

\*5 最大値 / 最小値・スケール最大値 / 最小値

[最大値]、[最小値] とともに同じ値に設定したままで本体にデータを転送するとエラーになります。必ず正しく設定してください。

\*6 [最大値]・[最小値] をデバイス（定数以外）に設定した場合、[最大値 / 最小値] の更新はグラフ表示時および [制御デバイス] の再描画 / 再描画クリアを行う時です。